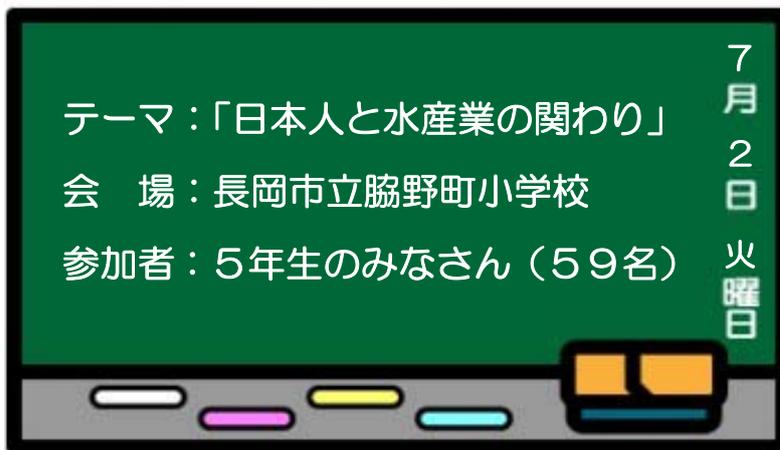


平成25年度 第1回 特別授業「ようこそ殿様」を実施しました。



牧野名誉館長が水産庁の職員時代に、捕鯨監督やマグロ遠洋漁業の監督官として世界の海を航海したときの体験談を披露しました。

巨大なマッコウクジラをはじめ、船上での仕事や生活の様子、航海中に通過したパナマ運河の仕組みなどをスライドでわかりやすく紹介しました。また、クジラの歯やヒゲの実物に実際に触れてもらう時間もあり、児童のみなさんは興味津々の様子でした。



子どもたちから、たくさんの質問がありましたので一部を紹介します！



仕事をしていて大変だな、イヤだなと思ったことはありますか？

Aさん

仕事は何でも楽しんでやろうと思っていたので、苦に思ったことはないですよ。
みなさんも、どんなことでも楽しんでチャレンジしてほしいです。



牧野名誉館長



いま日本の海で優先して解決しなければならないことはなんですか？

Bくん

それは海をきれいにすることです。
たとえば、干潟は海の生き物が生まれ育つところ。埋め立てなどによって干潟が少なくなっていました。一度失った資源（きれいな水と干潟）を取り戻すことは非常に難しいことですが、一步一步努力していくことが大切です。



牧野名誉館長

四方を海に囲まれ、海の恩恵を多く受けている日本。そして、自然豊かな長岡。私たちは大変恵まれた環境にいることに感謝するとともに、資源の大切さを深く心に刻んでくれたことと思います。

担当：長岡市立科学博物館